

第2回

東成区民モニター報告書

第2回目のアンケート調査では、日ごろ区役所が実施している事業についての評価をしていただきました。

今回は159名の方からご回答をいただきましたので、結果を報告させていただきます。

東成区のキャラクター
うりちゃん



【区民モニターの定数および回答者数】

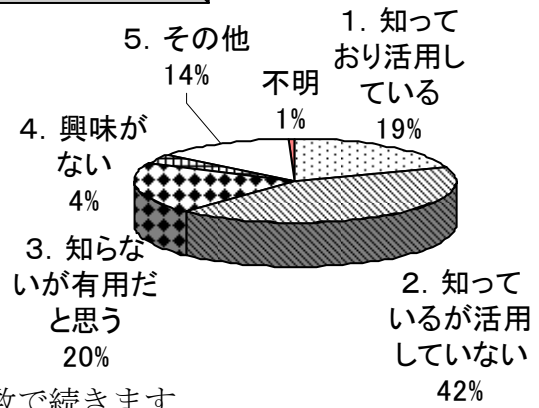
		区民モニターの数			回答者数		
		男	女	計	男	女	計
計		76	128	204	54	104	158(※2)
種別	公募			128			
	抽出(※1)			76			
年齢別	20歳代	5	13	18	2	12	14
	30歳代	10	35	45	7	26	33
	40歳代	18	26	44	11	22	33
	50歳代	13	22	35	8	17	25
	60歳代	20	23	43	17	21	38
	70歳以上	9	9	18	9	5	14
	不明	0	1	1	0	1	1

(※1) 無作為に抽出した市民のうち、承諾を得られた方

(※2) 回答欄の登録番号が不明で性別・年齢が確認できない回答が1件あります

問1：区役所1階にある「ふれ愛パンジー」をご存知ですか？

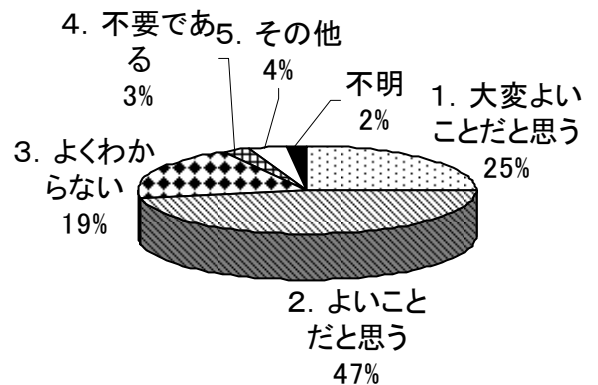
1. 知っており活用している	31名
2. 知っているが活用していない	67名
3. 知らないが有用だと思う	32名
4. 興味がない	6名
5. その他	22名
6. 無回答	1名



●「知っているが活用していない」と回答された方が最も多く、その次に「知らないが有用だと思う」「知っており活用している」がほぼ同数で続きます。

問2：区役所内にある区民のみなさんのためのスペースをどう思いますか？

1. 大変よいことだと思う	40名
2. よいことだと思う	75名
3. よくわからない	31名
4. 不要である	4名
5. その他	6名
6. 不明	3名

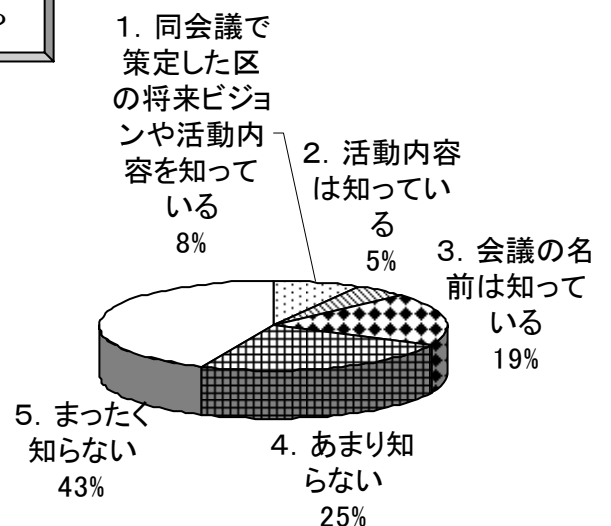


●「大変よいことだと思う」「よいことだと思う」を合わせると73%になり、概ね肯定的に受け止めていただいています。

●ふれ愛パンジーについては、もっと存在をアピールして、誰もが利用しやすいように広報や企画に努めて欲しいという意見が多数ありました。

問3：東成区未来わがまち推進会議をご存知ですか？

1. 同会議で策定した区の将来ビジョンや活動内容を知っている	13名
2. 活動内容は知っている	8名
3. 会議の名前は知っている	30名
4. あまり知らない	39名
5. まったく知らない	69名

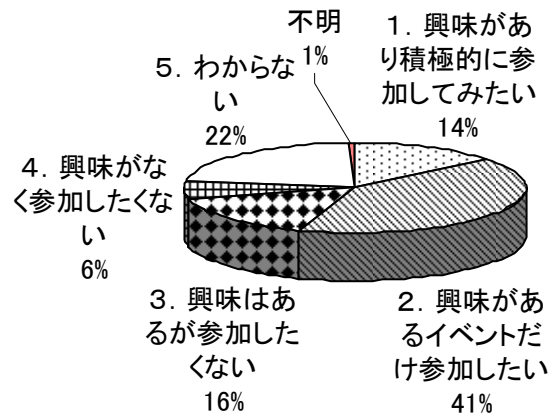


●「あまり知らない」「まったく知らない」を合わせると68%になり、会議の存在自体があまり知られていませんでした。

問4：市民と地域が連携して活動している同会議への参加について

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. 興味があり積極的に参加してみたい | 22名 |
| 2. 興味があるイベントだけ参加したい | 66名 |
| 3. 興味はあるが参加したくない | 25名 |
| 4. 興味がなく参加したくない | 10名 |
| 5. わからない | 35名 |
| 6. 不明 | 1名 |

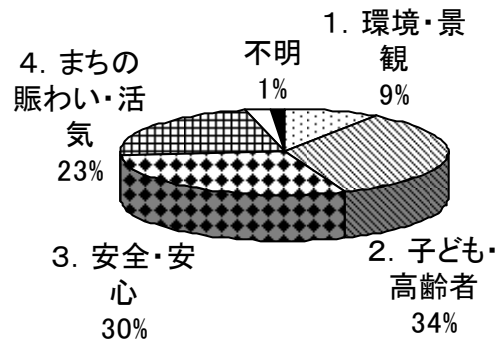
●「興味があるイベントだけ参加したい」が最も多く42%であり、「興味があり積極的に参加してみたい」方が22名もおられました。



問5：同会議が取り組むテーマで最も関心が高いものはどれですか？

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 環境・景観 | 15名 |
| 2. 子ども・高齢者 | 55名 |
| 3. 安全・安心 | 47名 |
| 4. まちの賑わい・活気 | 36名 |
| 5. 関心がない | 4名 |
| 6. 不明 | 2名 |

●「子ども・高齢者」に関する関心が最も高く34%で、「安心・安全」、「まちの賑わい・活気」が続きます。

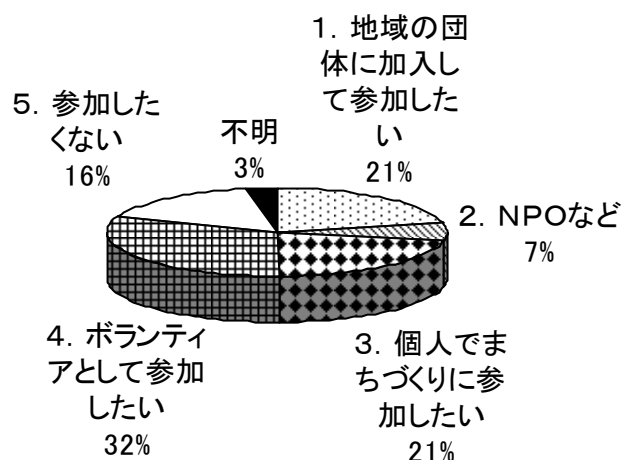


問6：あなたは、どのような形のまちづくり活動に参加したいですか？

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 地域の団体に加入して参加したい | 34名 |
| 2. NPOなど | 11名 |
| 3. 個人でまちづくりに参加したい | 34名 |
| 4. ボランティアとして参加したい | 49名 |
| 5. 参加したくない | 26名 |
| 6. 不明 | 5名 |

●「ボランティアとして参加したい」が最も多く32%であり、「地域の団体に加入して参加したい」「個人でまちづくりに参加したい」がそれぞれ21%ありました。

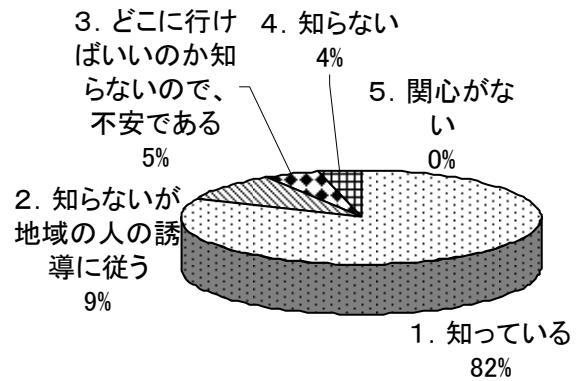
●参加の意思をもっておられる方が81%もおられます。



問7：災害が起こったときの緊急避難場所を知っていますか？

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1. 知っている | 130名 |
| 2. 知らないが地域の人
の誘導に従う | 15名 |
| 3. どこに行けばいいの
か知らないの
で、不安である | 8名 |
| 4. 知らない | 6名 |
| 5. 関心がない | 0名 |

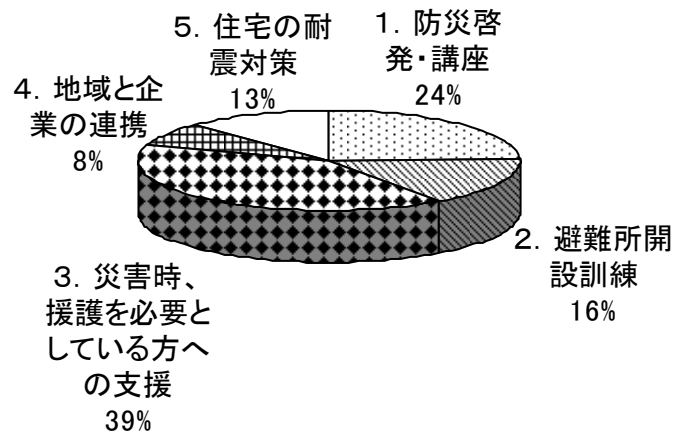
● 82%の方が避難場所を「知っている」と回答されており、ほとんどの方が認知されている状況でした。



問8：災害に備えて、地域が取り組まなければならないことは何ですか？

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1. 防災啓発・講座 | 39名 |
| 2. 避難所開設訓練 | 25名 |
| 3. 災害時、援護を必要と
している方への支援 | 63名 |
| 4. 地域と企業の連携 | 12名 |
| 5. 住宅の耐震対策 | 20名 |

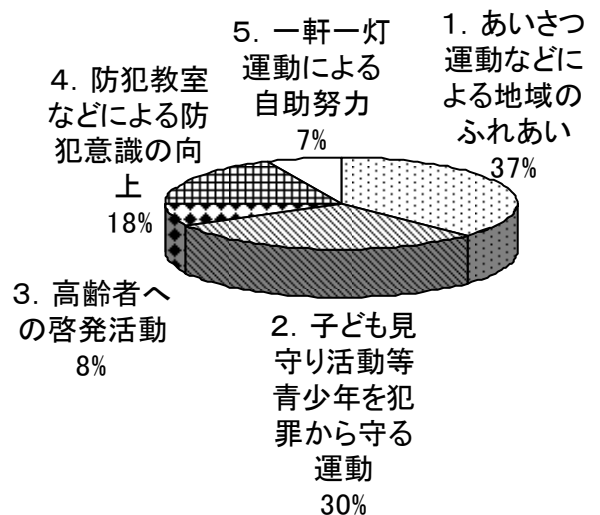
● 「災害時、援護を必要としている方への支援」について取り組まなければならないという回答が39%、「防災啓発・講座」とする回答が24%ありました。



問9：防犯対策として、地域が取り組む課題は何ですか？

- | | |
|----------------------------------|-----|
| 1. あいさつ運動などによる
地域のふれあい | 59名 |
| 2. 子ども見守り活動等
青少年を犯罪から守る
運動 | 48名 |
| 3. 高齢者への啓発活動 | 12名 |
| 4. 防犯教室などによる
防犯意識の向上 | 29名 |
| 5. 一軒一灯運動による
自助努力 | 11名 |

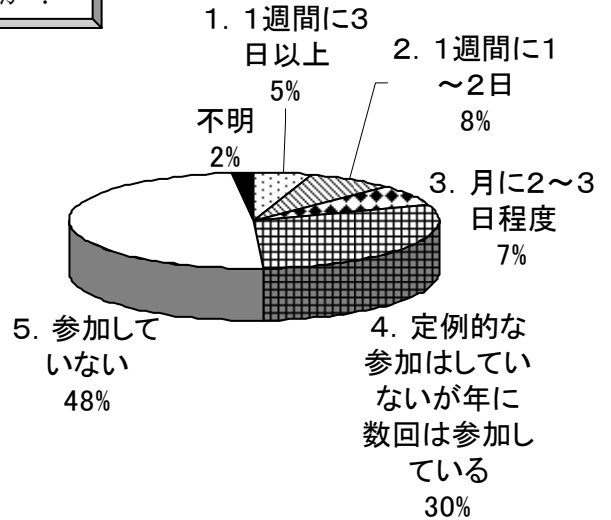
● 「あいさつ運動などによる地域のふれあい」が37%、子ども見守り活動等青少年を犯罪から守る運動」が30%となっています。



問10：地域の活動に、どの程度参加していますか？

1. 1週間に3日以上	8名
2. 1週間に1～2日	12名
3. 月に2～3日程度	11名
4. 定例的な参加はしていないが年に数回は参加している	47名
5. 参加していない	78名
6. 不明	3名

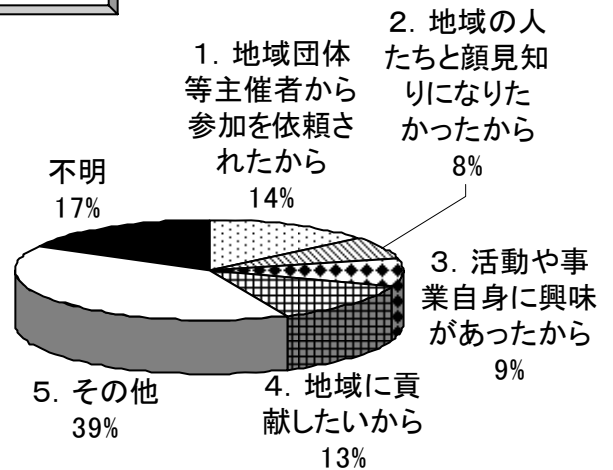
●49%の方が「参加していない」と回答されました。30%の方は年に数回参加されています。「1週間に3日以上」参加されている方が8名もいらっしゃいました。



問11：地域の活動や事業に参加された動機は何ですか？

1. 地域団体等主催者から参加を依頼されたから	22名
2. 地域の人たちと顔見知りになりたかったから	12名
3. 活動や事業自身に興味があったから	14名
4. 地域に貢献したいから	21名
5. その他	63名
6. 不明	27名

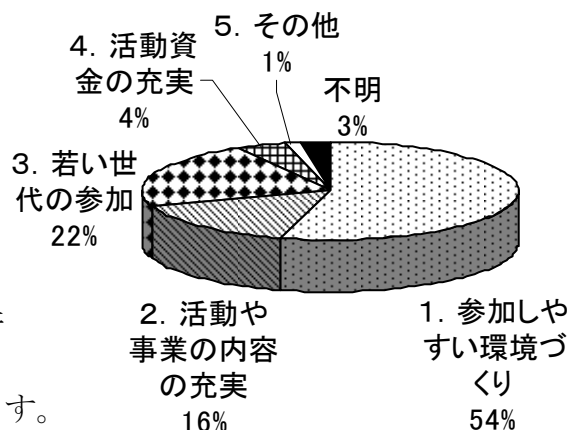
●問10で「参加していない」と回答された方は「その他」、「不明」を選択されました。参加された動機としては「参加を依頼されたから」が22名ありました。



問12：地域の活動や事業を活発なものとするために必要なものは何ですか？

1. 参加しやすい環境づくり（日程・時間帯・場所・託児機能など）	86名
2. 活動や事業の内容の充実	25名
3. 若い世代の参加	35名
4. 活動資金の充実	7名
5. その他	2名
6. 不明	4名

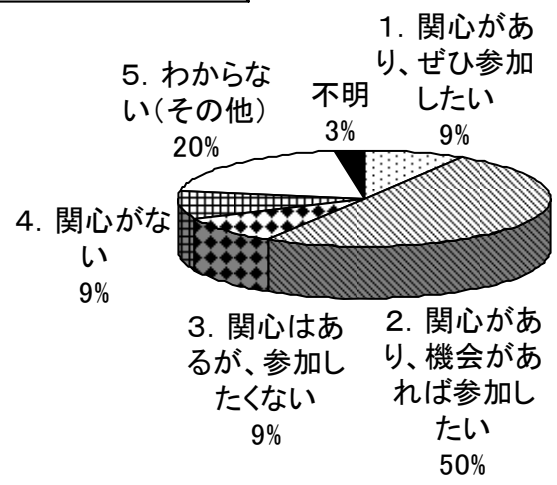
●「参加しやすい環境づくり（日程・時間帯・場所・託児機能など）」と回答された方が54%で、次いで「若い世代の参加」が22%となっています。



問 1 3 : あなたの地域で活動している健康づくり活動について

1. 関心があり、ぜひ参加したい	14名
2. 関心があり、機会があれば参加したい	79名
3. 関心はあるが、参加したくない	15名
4. 関心がない	15名
5. わからない(その他)	32名
6. 不明	4名

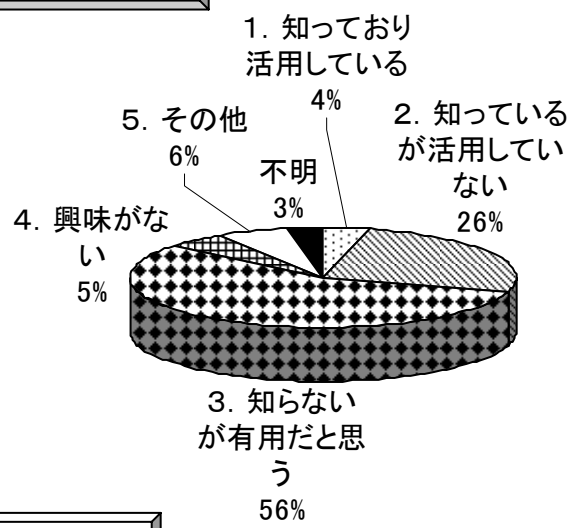
● 「関心があり、機会があれば参加したい」と回答された方が50%ありました。いっぽうで「参加したくない」、「関心がない」方は合わせて18%でした。



問 1 4 . メタボリックシンドロームの健康教室をご存知ですか？

1. 知っており活用している	6名
2. 知っているが活用していない	41名
3. 知らないが有用だと思う	90名
4. 興味がない	8名
5. その他	9名
6. 不明	5名

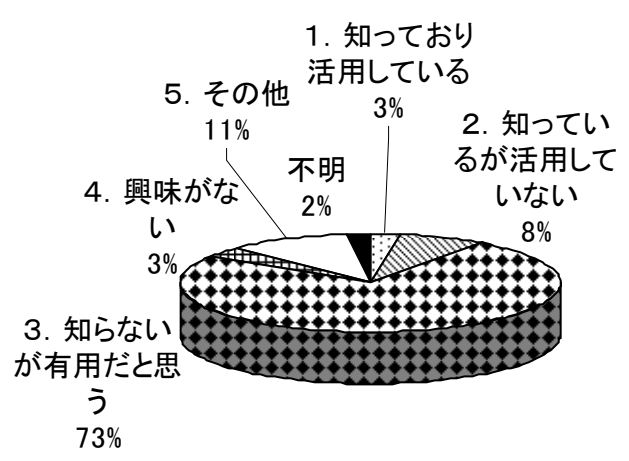
● 「知らないが有用だと思う」と回答された方が最も多く、56%ありました。次に「知っているが活用していない」が26%でした。



問 1 5 . 「東成区障害者社会資源マップ」をご存知ですか？

1. 知っており活用している	4名
2. 知っているが活用していない	12名
3. 知らないが有用だと思う	118名
4. 興味がない	5名
5. その他	17名
6. 不明	3名

● 大半(73%)の方が「知らないが有用だと思う」と回答されました。知っている方は全体の10%でした。



問16. 障がい者の暮らしやすい街づくりのためにあればよいと思う情報は？

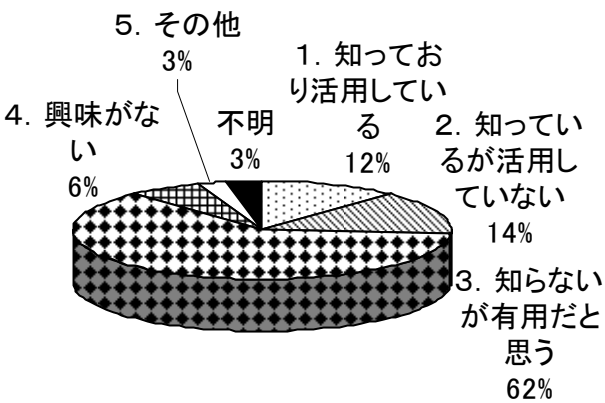
主なご意見としては、次のようなものがありました。

- 安心して買い物や食事をするためのサポートがある店
- バリアフリーの整備がされている、道路や公園
- 交流によりお互いの理解が広がる場や機会
- 障がい者がよく利用される公共サービス
- 働く場所

問17. 「子育て安心ブック（東成区）」をご存知ですか？

1. 知っており活用している	19名
2. 知っているが活用していない	23名
3. 知らないが有用だと思う	98名
4. 興味がない	10名
5. その他	4名
6. 不明	5名

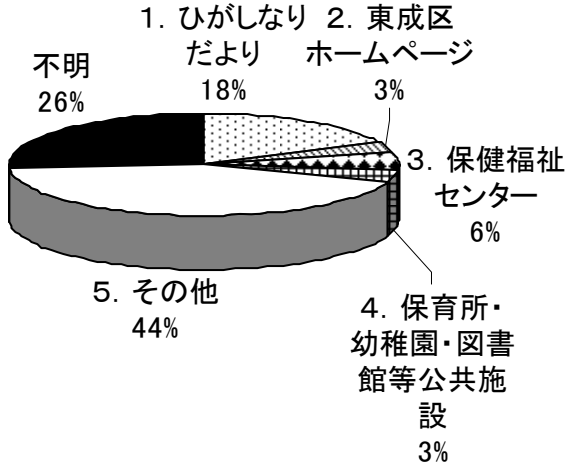
●「知らないが有用だと思う」と回答された方が最も多く、62%ありました。次に「知っているが活用していない」が14%でした。



問18. 「子育て安心ブック（東成区）」をどこでお知りになりましたか？

1. ひがしなりだより	28名
2. 東成区ホームページ	5名
3. 保健福祉センター	10名
4. 保育所・幼稚園・図書館等公共施設	5名
5. その他	69名
6. 不明	42名

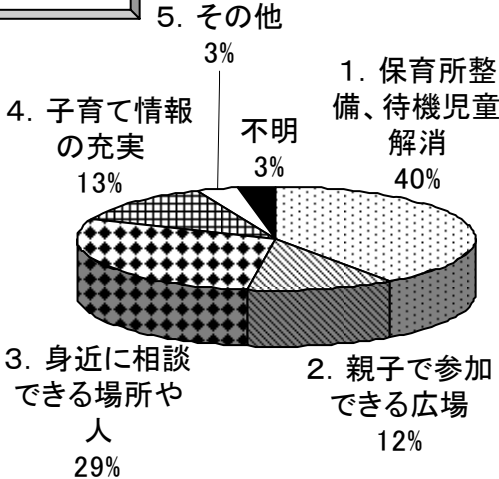
●問17で「知らない」と回答された方は「その他」、「不明」を選択されたようです。「ひがしなりだより」でお知りになった方が最も多く28名でした。



問19. 子育てをするにあたって必要な支援は何ですか？

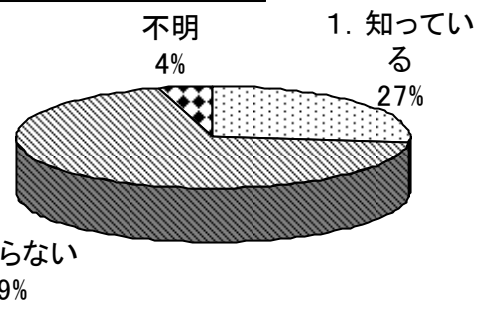
1. 保育所整備、待機児童解消	64名
2. 親子で参加できる広場	19名
3. 身近に相談できる場所や人	46名
4. 子育て情報の充実	20名
5. その他	5名
6. 不明	5名

●「保育所整備、待機児童解消」が最も多く、40%でした。続いて「身近に相談できる場所や人」で29%となっています。



問 2 0. 児童虐待などを見かけられたときの連絡先をご存知ですか？

- 1. 知っている 43名
- 2. 知らない 109名
- 3. 不明 7名



● 69%の方が、連絡先を知らないと回答されました。

問 2 1. 知っているとお答えの方は、ご存知の連絡場所をご記入ください。

次のような結果になりました。

(参考) 「ひがしなりだより」平成 21 年 11 月 15 日発行より

- 中央児童相談所 22名
- 警察 11名
- 区役所・保健福祉センター 7名
- 民生委員 6名
- 学校等 4名

相談窓口	相談時間・電話番号
児童虐待ホットライン (大阪市中央児童相談所)	24 時間対応 (フリーダイヤル) 0120-01-7285
東成区保健福祉センター 子育て支援室	平日 9 時～17 時 30 分 土・日・祝日・年末年始は休み 6977-9157
チャイルド・レスキュー 110 番 (大阪府警察本部「児童虐待対策室」)	24 時間対応 6943-7076
子どもの虐待ホットライン (NPO 法人 児童虐待防止協会)	平日 11 時～17 時 土・日・祝日・年末年始は休み 6762-0088

問 2 2. 区と市民が一緒に取り組んだらよいと思う事業をご記入ください。

- 小さな子供達が安心して遊べる場所などの見回り活動
- 地域のコミュニケーションの向上対策
- 商店街や地域の活性化
- 健康づくりなどの活動をしてほしい
- 区民の困った事を、いつでも気楽に相談できる場所を、区役所に作って欲しい
- 区の行事の際の一時保育
- 環境づくり—公園・道路の植栽など
- 資格や趣味の無料講座の開講
- 差別根絶への取り組み
- 新しくできた、集合住宅の住民と昔から住んでいる住民とのコミュニケーション
- 認知症や一人暮らしの高齢者、障害者、母子家庭とか地域で支えあえる環境づくり
- 未成年者の喫煙や路上喫煙の取り締まり

いただきましたご意見・ご提案につきましては、一件ずつ対応を検討して
できることから実施し、区民のみなさまに周知してまいりたいと考えております。

ご不明な点やご意見などございましたら、担当までお知らせください。
【東成区役所 総務・総合企画担当：06-6977-9683】